

令和8年度 中学校教育研究協議会御案内

令和8年4月吉日

ご あ い さ つ

春風の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃から本校の教育実践や研究に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本校では、本年度と来年度の2年間の研究主題を「『考え実現する力』で未来を舵取りできる生徒の育成」とし、益々変化の激しい社会において、生徒がこれから遭遇する対象の意味を自らの目的や価値観に照らして問い、よりよい方向を選択し、その選択に基づき行動し、自らの未来を切り拓く主体になり得ることを目標としております。そのために、現状を批判的に捉えたり、情報の内容を吟味したり、他者と協働しながら考えを深めたり、自身が持つ価値観や意味を更新したりして、自らの選択に基づき行動することのできる生徒を育成する方法及び内容の研究を進めております。

本年度の研究協議会では、この研究主題に対して各教科等の特性を踏まえた研究成果の発表と共に研究方法等の説明を行い、討議を深めたく存じます。つきましては、ご多用のこととは存じますが、ご参加頂きご指導賜りたく、ご案内申し上げます。

埼玉大学教育学部附属中学校長 内田 裕子

令和8年度 中学校教育研究協議会開催要項

1 研究主題

「『考え実現する力』で未来を舵取りできる生徒の育成」

- 2 期 日 令和8年5月26日(火)・5月27日(水)
- 3 会 場 埼玉大学教育学部附属中学校 〒336-0021 さいたま市南区别所4-2-5
TEL 048-862-2214 FAX 048-865-6484 MAIL fuchu@gr.saitama-u.ac.jp
- 4 趣 旨 上記主題のもとに実践上の諸問題について提案、および研究協議をする。
- 5 主 催 埼玉大学教育学部附属中学校
- 6 後 援 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県連合教育研究会
埼玉県中学校長会 さいたま市中学校長会 埼玉縣市町村教育委員会連合会
- 7 日 程

12:30~	13:05 ~ 13:20	13:30 ~ 14:20	移 動	14:35 ~ 15:25	移 動	15:40 ~ 16:50
受付	教科等提案	研究授業Ⅰ		研究授業Ⅱ または講演会等		教科等分科会等

※教科等分科会等には講演会も含まれます。

- 8 持 ち 物 一般参会者の方は下足袋と上履きをお持ちください。

9 教科等研究授業・研究協議（分科会）

第1日 5月26日（火）

(1) 研究授業等 1校時（13:30～14:20） 2校時（14:35～15:25）

教科等	学年・組	校時	授業者	題 材 等
社会	3年A組	1	細野 悠司	近代の日本と世界 ～歴史的分野における紛争解決学習～
	1年B組	1	高橋 佑樹	世界と日本の地域構成 ～北極はどこ領土か～
	2年C組	2	加藤 雅也	日本の地域的特色 ～「副首都構想」どこがよい？～
保健 体育	1年C組	1	阿部 健作	心身の機能の発達（生殖に関わる機能の成熟）
	3年CD組	2		「球技」（ゴール型 ハンドボール）
	1年D組	2	山田 大生	「球技」（ネット型 ピックルボール）
	2年B組	1	原賀 祥乃	「陸上競技」（長距離走）
技術 ・ 家庭			岡部 大樹 堀川 真理子	※本年度は研究授業を実施いたしません。
英語	1年A組	1	小内 貴司	PROGRAM 2 1-Bの生徒たち
	2年D組	1	蓬澤 守	PROGRAM 2 Koshien Project in Africa
	3年B組	2	池田 翔吾	PROGRAM 3 Hot Sport Today
学校 保健			内田 貴美子	※本年度は研究授業を実施いたしません。

(2) 研究協議 分科会（15:40～16:50）

教科等	研究主題	教科等提案者	指導助言者	司会者
社会	社会を変革していく主権者を育む 社会科教育	附属中学校社会科 細野 悠司 高橋 佑樹 加藤 雅也	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 丸橋 直樹 埼玉大学准教授 小貫 篤	川越市立 初雁中学校 教諭 東條 瑞貴
保健 体育	豊かなスポーツライフを実現する 資質・能力の育成へ向けた授業改善 ～運動に夢中になる中で、考え 実現する生徒の育成～	附属中学校保健体育科 阿部 健作 山田 大生 原賀 祥乃	県教育局県立学校部 保健体育課指導主事 小林 良 埼玉大学教授 石川 泰成 埼玉大学准教授 森田 哲史	八潮市立 潮止中学校 教諭 松本 優希
技術 ・ 家庭	未来を切り拓く資質・能力の育成 ～日常生活や社会の中で自ら問題 を発見し、解決できる生徒の 育成～	附属中学校技術・家庭科 (技術分野)岡部 大樹 (家庭分野)堀川 真理子	※本年度は分科会を実施いたしません。 研究内容は資料をご確認ください。	
英語	「自分のことば」で意思疎通できる 生徒の育成 ～英語でコミュニケーションを行う 目的や場面、状況や伝える相手を 意識した授業設計を通して～	附属中学校英語科 小内 貴司 蓬澤 守 池田 翔吾	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 高橋 道人 埼玉大学准教授 奥住 桂	三芳町立 三芳中学校 教諭 和合 嘉子
学校 保健	一人ひとりの質の高い学びの実現 に向けた健康教育 ～これからの創造し、多様な選択 を尊重して支え合う力を養う～	附属中学校養護教諭 内田 貴美子	※本年度は分科会を実施いたしません。 研究内容は資料をご確認ください。	

第2日 5月27日(水)

(1) 研究授業等 1校時(13:30~14:20) 2校時(14:35~15:25)

教科等	学年・組	校時	授業者	題材等
国語	3年A組	2	大塚 悠希	根拠と理由付けを結びつけて文章を書こう
	2年A組	1	成田 和基	「ヒューマノイド」を深く読もう ～みんなの問いから魅力を探る～
	1年C組	1	大谷 颯	言葉の選び方を考えよう
数学	1年A組	1	奥田 勇司	データの分析と活用
	2年C組	1	大野 洋嗣	三角形と四角形
	3年D組	2	土屋 響	平方根
理科	3年B組	2	山本 孔紀	地球と宇宙
	2年B組	2	谷津 勇太	化学変化と原子・分子
	3年C組	1	伊藤 慶祐	生命の連続性
	1年B組	1	小岩井 爽	身近な物理現象
音楽	2年D組	1	織田 澤絵里	歌詞が表す情景を思い浮かべ、曲想を味わいながら歌おう
	ワークショップ	2		中学校における歌唱指導の実際と課題
美術	ワークショップ	1	吉田 真梨	教科横断的な学習を活かした題材計画の提案
	1年C組	2		形と色の可能性を感じよう! ～感情豊かなオノマトペ編～

(2) 研究協議 分科会(15:40~16:50)

教科等	研究主題	教科等提案者	指導助言者	司会者
国語	「考え実現する力」を育む国語科の授業づくり ～「考え実現する力」を支える思考の往還とルーブリックの活用～	附属中学校国語科 大塚 悠希 成田 和基 大谷 颯 長島 優香	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 田中 速夫 埼玉大学准教授 三浦 直行	三郷市立西中学校 教諭 大須賀 健太
数学	事象を数理的に捉え、生徒が自ら思考する数学学習指導 ～生徒が自ら問いを生み出す発問に焦点を当てて～	附属中学校数学科 奥田 勇司 土屋 響 大野 洋嗣	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 岸本 航司 埼玉大学教授 二宮 裕之	川越市立富士見中学校 教諭 松下 誉明
理科	自然を主体的・科学的にどこまでも深く探究し、新たな解をつくる生徒の育成	附属中学校理科 山本 孔紀 谷津 勇太 伊藤 慶祐 小岩井 爽	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 島田 直也 埼玉大学教授 中島 雅子	川越市立霞ヶ関中学校 教諭 國本 千里
音楽	感性を働かせ、表現をつくり出す生徒の育成 ～他者と協働して試行錯誤を重ねる活動を通して～	附属中学校音楽科 織田 澤絵里 金屋 優人	県教育局市町村支援部 義務教育指導課主任指導主事 都木 雅之 埼玉大学教授 小野 和彦	戸田市立戸田東中学校 教諭 本間 貴美子
美術	自らの理想を追求し続ける生徒の育成を目指した学習指導の工夫 ～主題を生み出し発想を広げ深めるための豊かな学習環境の追求～	附属中学校美術科 吉田 真梨 田崎 翔平	県教育局市町村支援部 義務教育指導課指導主事 安藤 栄信 埼玉大学教授 石上 城行	さいたま市立岩槻中学校 教諭 郡司 藍子

10 問い合わせ先 校内教頭 山本 孔紀
副校長 高橋 太一
TEL 048-862-2214 MAIL fuchu@gr.saitama-u.ac.jp

- 11 備考
- ・本研究協議会は、教義指第985号（令和8年1月16日付）により、埼玉県教育委員会の後援承認済みです。
 - ・本研究協議会は、教学指第6804号（令和8年2月5日付）により、さいたま市教育委員会の後援承認済みです。
 - ・参加希望の方は5月22日（金）までに参加申し込みフォームにてお申し込みください。
※下記URLまたはQRコードを読み込んでください。
※申し込みにはメールアドレスの入力が必要になります。
※申し込み後の自動返信は「saidaifuzoku2020@gmail.com」より配信されます。
迷惑メール対策により受信されない場合がありますので、事前に受信設定をお願いいたします。
 - ・当日の受付も可能です。当日に本校の受付までお越しください。

参加申し込みフォーム

<https://forms.gle/Gm4et7wjEGSozKoU8>



- ・資料のペーパーレス化に伴い、参加費を無料といたします。
- ・両日の研究協議の内容につきまして、本校のホームページ（アドレス <https://www.jhs.saitama-u.ac.jp/>）に掲載いたします。ぜひ御覧ください。

